



UNIVERSITY

TAEJAE



2023 年 9 月

泰齋大学は 21 世紀の高等教育のパラダイムを変える画期的な旅を始めました。

自己主導的に明日を設計し、調和の取れた人類共同体を
築いていく創造的な人材の温床、持続可能なデジタル
新文明をリードするグローバルリーダーの拠点。

ここは泰齋大学です。



THE

NEXT



ANSV



VER



21 世紀のグローバル社会は、政治、社会、経済、文化などあらゆる面でデジタルベースの社会へと変化しています。人類文明の歴史的な大転換が加速し、地球は巨大な運命共同体となり、グローバルな和合の重要性もますます高まっています。気候変動に伴う環境問題、グローバル社会の多様性の問題、共生社会のための社会的責任など、社会的価値に関する議論は絶えることがありません。

こうした急激な変化の中で、泰齋大学は教育のパラダイムを革新する先駆者として、大学教育の未来を新たに切り開きたいと考えています。“The Next Answer” のモットーを掲げて、大学教育の新しい答えが泰齋大学から生まれるよう努めてまいります。

泰齋大学は 20 世紀の大規模な講義形式から脱却し、能動的な学習を志向しています。授業は 20 名未満の少数の学生で構成され、ディスカッション型の学習や問題解決型の授業が行われます。場所の制約なく、世界中の優れた学者が革新的な教育方法で授業を行っています。

個別のカスタマイズされた指導と支援が学生の成功にとって何よりも重要であることを認識し、このような教育方法を通じて学生の個別の潜在能力を最大限に引き出すよう支援します。泰齋大学の学生が韓国、アメリカ、中国、日本、ロシア、ヨーロッパのグローバルな舞台を駆け巡り、未来をリードする主役として成長できるよう、最善の教育を提供します。

教育の革新の場、泰齋大学と共により明るい未来を築いていただければ幸いです。

泰齋大学の総長 廉載鎬

A stylized black ink signature of Jaeho Yeom.

Jaeho Yeom
President, Taejae University



About Taejae

上位1%のグローバル人材を育成する未来革新大学





泰齋大学は、調和的で持続可能な社会を築くために、自己主導的で未来志向的なグローバルリーダーを育成することにより、高等教育の変革をリードしています。

私たちの使命は、人類の和合を促進し、持続可能なデジタル社会をリードする人材を育成し、革新的な教育プラットフォームを構築することです。

泰齋大学の教育カリキュラムは、著名な教授陣、内部の教育革新専門家、外部の学者や専門家から成る教育カリキュラム審査委員会の厳格な設計と開発プロセスを経て、泰齋大学が構想するデジタル時代のリーダーシップに不可欠な6つの核心能力を学生に育ませるために、教育カリキュラムを総合的に調整しています。

泰齋大学は5つの学部課程に加えて、学生を全人的な将来のリーダーとして育成するために特別な努力を払っています。優れた教授陣と専門家から成る教育革新院、グローバルリーダーシップセンター、学生成功センターなどの学生専門支援機関を設立し、泰齋大学独自の特化プログラムを全面的に提供しています。

急速に変化する社会、文化的な境界を超えて、自己主導的な学習能力を向上させ、持続可能性を追求するリーダーとして成長したいと願うすべての人は、教育の革新の先駆者である泰齋大学の門をたたいてみてください。

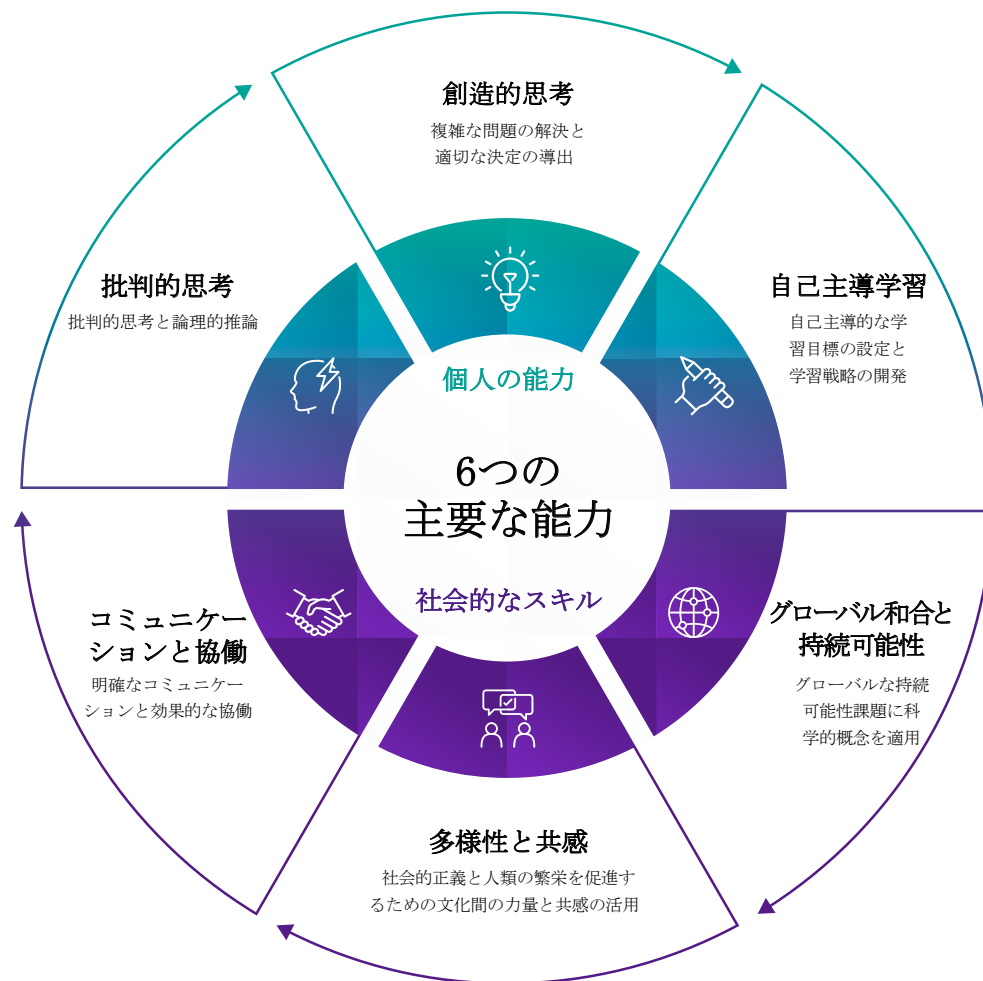


核心的な能力中心の教育課程

泰齋大学の教育課程は、物理学、化学、経済学、政治学、哲学などの伝統的な科目のみに焦点を当てる従来の大学とは異なります。代わりに、学生の問題解決能力と自己主導型学習能力を総合的に開発することを優先します。

核心的能力中心の教育課程は、体系的で計測可能であり、実生活に適用可能であるという特徴があります。学生の変化する要求を満たすために、能力ベースの学習と没入型のグローバル体験を融合し、徹底的に設計されました。そして、学生の学習の旅を持続的に向上させることで、最高の教育水準を維持しています。

学生中心の学習モデルを通じて、批判的かつ創造的に考え、コミュニケーションと協力を通じて協調的で調和の取れた人材として生まれ変わります。また、多様性を理解し共感することで、グローバルな和合と持続可能性に貢献する人材を育成することが泰齋教育の核心価値です。

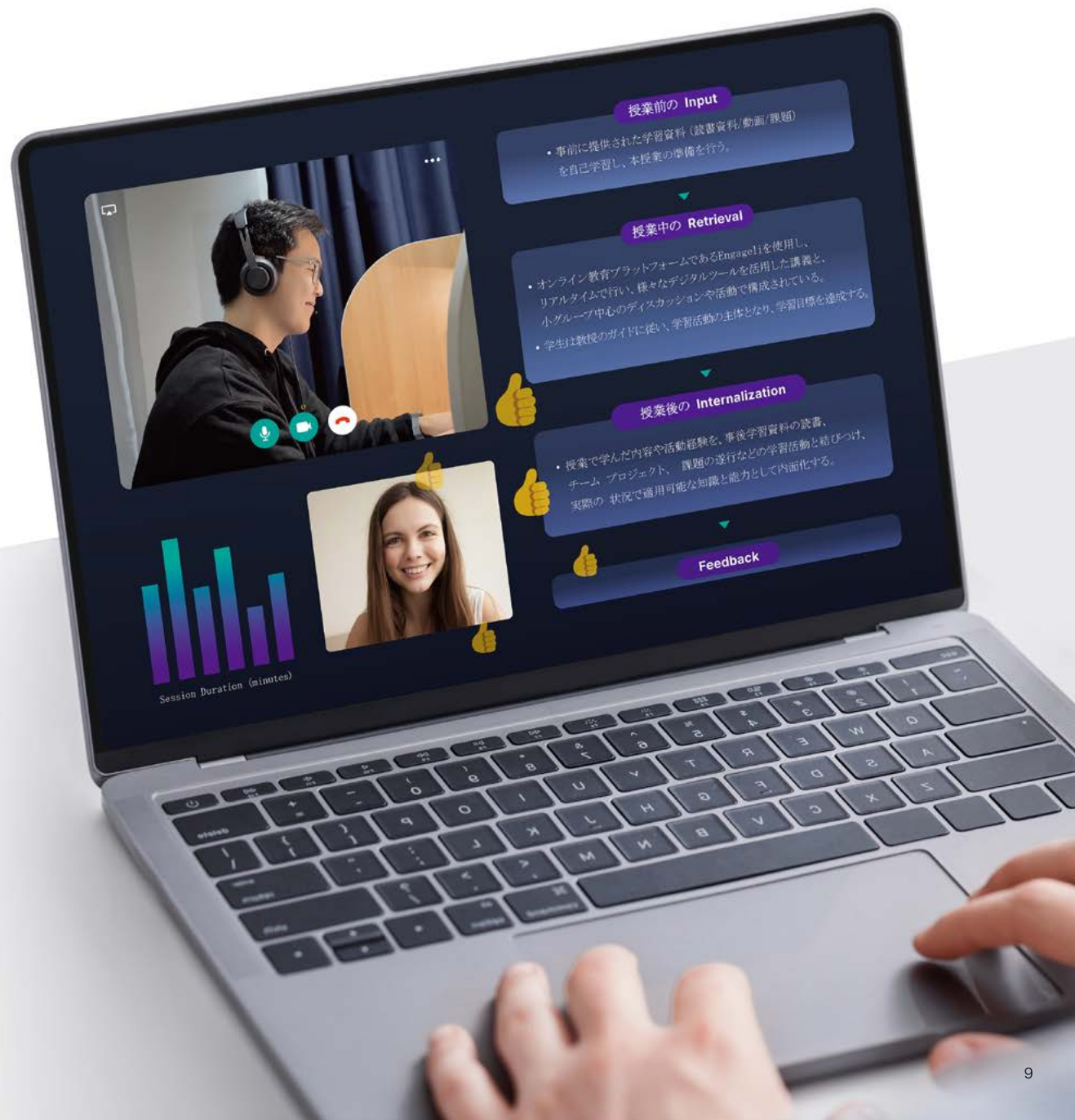


Active Learning

泰齋大学はすべての授業でアクティブラーニング（Active Learning）方法を導入し、学生中心の革新的な教育方法を実現しています。各授業は20名以下の少人数で構成され、すべての講義は100%英語で行われます。

学生は授業前に読書資料や動画などで事前学習と活動を行い、授業中には事前に密に設計されたLESSONプランに従ってリアルタイムのビデオ授業に参加します。さまざまなデジタルツールを活用して小グループ中心のディスカッション形式の問題解決を経験し、授業後には前回の授業の学習内容を振り返るために事後学習資料の読み込み、チームプロジェクト、エッセイ執筆などの課題を実践します。これにより、創造的思考、批判的思考、自己主導学習などの核心能力を開発することができます。

これらの過程で学生は教員陣と密接にリアルタイムでコミュニケーションを取ります。教員陣は教育者の役割を超えて、学生の学習を促進し、導く促進者の役割を担います。このような教育方法により、学生は主体的に学習活動に参加し、教授の個別支援を持続的に受けることができます。



デジタル社会に適したハイブリッド キャンパス

泰齋大学は21世紀型のハイブリッドキャンパスとして運営され、オンラインとオフラインのキャンパスを同時に活用するデジタル社会に最適化された大学です。



グローバル・レジデンシャル・キャンパス ■

学生は4年間の在学期間中、韓国を含むアメリカ、中国、日本、ロシアなど、5つの主要国のレジデンシャルキャンパスで滞在し、学習コミュニティ生活を続けます。単に授業を受けるだけでなく、4大国の主要なグローバル都市に居住しながら、各国の政治、社会、文化、経済などについての理解を広げます。グローバル・レジデンシャル・キャンパスでの生活を通じて、学生は所属意識、多様性、共感力、グローバル市民意識を育成します。

ソウルキャンパス | ソウル麻浦区西橋洞460-25ローカルスティッチ
クリエイター西橋店



泰齋大学の大学本部 ▲

泰齋館は泰齋大学の大学本部で、伝統的な韓屋建築と西洋風のガラス建築が調和した、東洋的建築美と西洋的建築技術が融合された革新的な建築物です。泰齋館は、アートホールを設計した建築家である故キム・ソクチョル教授の作品で、設計には4年かかりました。宮殿の花階と宮殿建築の架構式からモチーフを得た建物に韓国式庭園を加えた建物で、2005年には韓国建築文化大賞で特選を受賞しています。泰齋館の内部には、1977年に民俗文化財第13号として指定されたベク・ホンボム家屋があります。

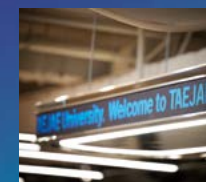
泰齋館 | ソウル鍾路区昌徳宮5ギル22-8



対外協力センター | 人材発掘センター ●

ヘファ館は泰齋大学の対外協力センターと人材発掘センターが位置しており、泰齋大学を訪れるすべての方々を温かく迎える空間です。泰齋教育に興味がある受験生や学生の保護者に向けて多様な入学相談を提供し、国内外のメディアを含む関心のある多くの方々との交流の場を提供する泰齋大学のオープンキャンパスです。

ヘファ館 | ソウル鍾路区大学路133-1



メタバースキャンパス



泰齋大学は泰齋館と古宮を形象化したメインキャンパス、宇宙ステーションのコンセプトの第2キャンパスに大学本部、900以上のバーチャル教育学習スペース、大規模イベント施設、学生個人のスペース、自治スペースなど、未来型キャンパスライフモデルを通じて、サイバー空間でメタバースキャンパスを具現しています。



デジタルライブラリー



泰齋大学デジタルライブラリーはクラウドベースの統合型プラットフォームで、AI推薦システム、意思決定システムなどの利用者に合わせたサービスと強力な検索エンジンを搭載したレスポンスウェブベースのシステムを提供します。EBSCO、Kyobo E-book、MOOCなど47種類のWeb DBに対する統合検索と原文を提供し、いつでもどこでも必要な資料を閲覧できます。すべての書籍と論文は電子書籍形式で提供され、Web DBを通じて40万冊以上の海外電子書籍と7万冊以上の国内電子書籍を貸出し、閲覧することができます。



オンライン教育プラットフォーム



オンライン教育プラットフォームであるインゲジリ (Engageli) を授業に導入し、多様な相互作用とディスカッション学習が可能な点も泰齋独自の特徴と言えます。すべての授業は録画され、授業終了後には教授と学生の発表時間に関するデータが算出されます。誰が授業に活発に参加しているかを教授陣と教育イノベーションセンターから一目で把握することができます。学生は授業が終わった後も「プレイバックルーム」で過去の授業映像を振り返りながら復習することができ、すべての授業映像には英語字幕が提供されます。





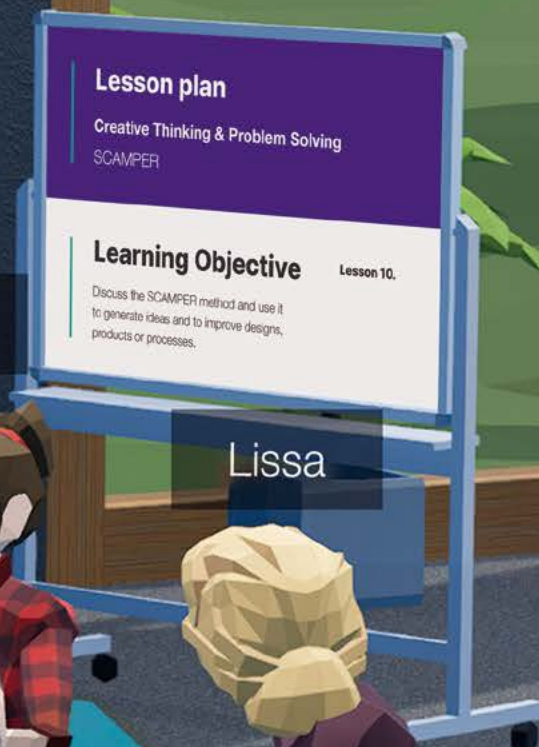
Michael Scott



Megan



Yejoon Song



Mays

Lissa



Khal

Sooyeong

Academics

優れた教授陣と共に融合・複合的な専攻体系を実現する泰齋大学



自然科学部



人文社会学部



革新基礎学部



データ科学と
人工知能学部

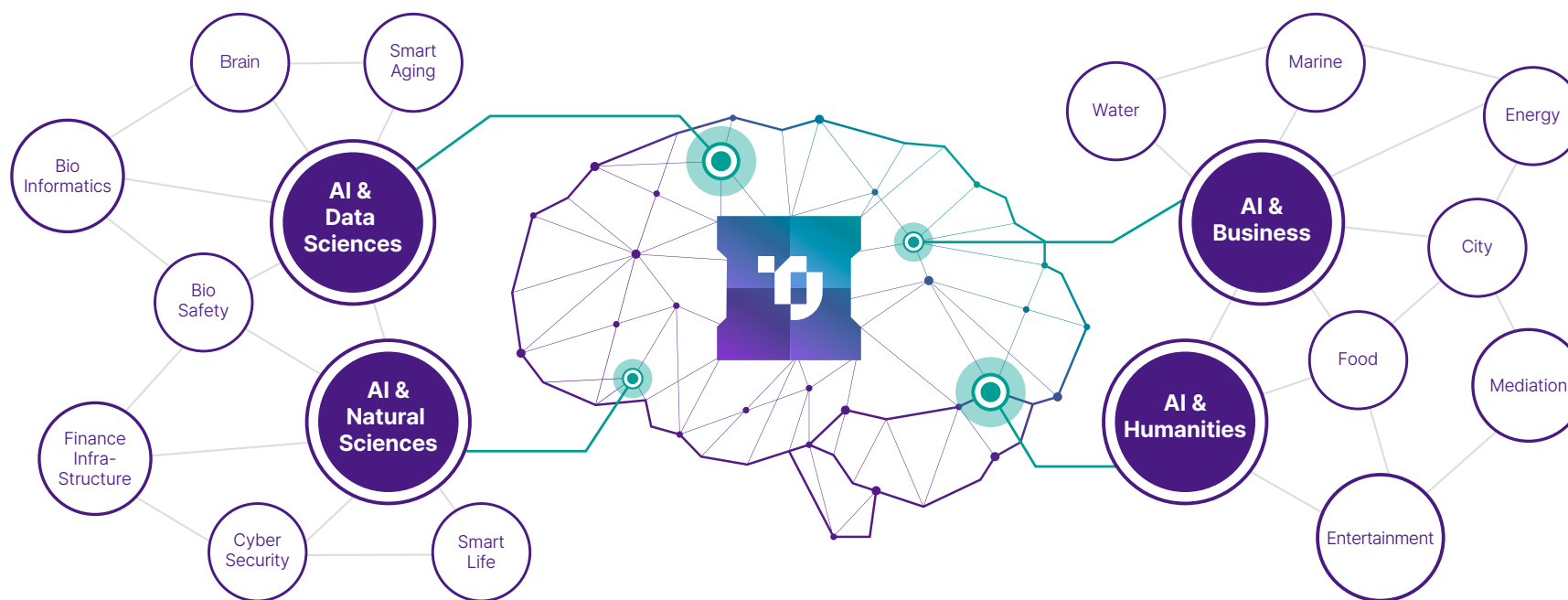


ビジネス革新学部

Hiroshi

AI融合専攻課程

泰齋大学は21世紀のデジタル時代をリードするため、すべての専攻コースに人工知能を融合した教育課程を設計し、運営しています



AI ベースのシステム設計

- ・スマートライフ
- ・メディア制作
- ・AIベースのバンキングシステム
- ・都市環境デザインと持続可能性
- ・AIと建築

AI & 革新基礎学部

6つの主要能力

- ・コミュニケーションと協力
- ・多様性と共感
- ・グローバル調和と持続可能性
- ・コミュニケーションと協力
- ・多様性と共感
- ・グローバル調和と持続可能性

カリキュラム

- ・批判的で合理的な考え方
- ・創造的思考と問題解決
- ・モチベーションと自己主導学習
- ・ヒューマン・コミュニケーション
- ・多様性、共感、グローバル市民意識
- ・持続可能性と公正
- ・データ分析とストーリーテリング
- ・判断と意思決定
- ・リーダーシップと協働
- ・社会制度の探索

革新基礎教育課程

1年生が受講する革新基礎教育課程は、核心力量基盤の教養課程中心に構成され、学習のテーマと内容は核心的な能力と連係して設計されます。この課程は、人間の生活の基盤となる主要な学問領域やテーマに関して知的な教養と洞察力を培うことを重視しています。また、コンピューター言語、グローバル体験学習のために中国語、日本語、ロシア語などの第二外国語を必修科目とし、学生は自らの能力を多角的に強化することができます。

専攻教育課程

人文社会学部、自然科学部、データ科学と人工知能学部、ビジネス革新学部の専攻課程もまた核心的な能力と結びつけて設計されます。2年次1学期には、4つの学部の核心的な専攻基礎科目を履修した後、興味分野に応じて、4つの学部の専攻課程のうち2つ以上の専攻を選択して履修し、複数専攻または主専攻+副専攻の形で専攻を修了することができます。さらに、様々な学部の専攻科目を融合した自己設計専攻を選択することができます。

泰齋大学の教育課程は個別に実践的課題を探索し総合的に整理して結論を導き出す「キャップストーンセミナー」と「キャップストーンプロジェクト」科目を通じて完成されます。キャップストーンプロジェクトは、学生の専攻分野および希望進路に合わせて設計され、専攻学部の教員および専門家の丁寧な指導が伴います。





現場体験教育課程

グローバルエンゲージメント



泰齋大学は、朝鮮半島を囲むアメリカ、中国、日本、ロシアの4つの国が20世紀にどのように強国へと発展したかについての理解が必要であるという趣旨のもと、グローバルエンゲージメント (Global Engagement) を実施しています。学生は在学期間中、韓国を含むアメリカ、中国、日本、ロシアなど、5か国に居住し、その国のリーダーが歴史的に重要な時期にどのような意思決定を行ったかを調査し、主要都市や歴史的な場所を訪れることになります。そして、滞在する都市ごとに人口、環境、インフラ、アクセシビリティなど、都市の社会経済的な環境を実際に体験し、探求します。

都市問題解決プロジェクト



都市問題解決プロジェクト (Civic Project) は、学生の現場中心の問題解決能力を育成するための教育プログラムです。現場の問題をより深く探究し、学問的理論と結合させる機会を提供し、学生が地域の文化と社会に入り込み国や地域ごとの問題を調査できるように設計された学際的問題ベースの学習モジュールです。1学期にわたって行われるこのモジュールは、教授陣が指導するチームプロジェクトで構成されており、各チームの専門的な関心事や情熱に合わせて調整できるように設計されています。

Study Tour スタディツアー



スタディツアー (Study Tour) には、国別のグローバルエンゲージメントスタディツアー (Global Engagement Study Tour) と、アメリカとヨーロッパへの特別スタディツアー (Special Study Tour) の2つがあります。

特別スタディツアーは、現代のイノベーションエコシステム (産業) と人類文明の萌芽の現場を直接体験し、グローバル人材としての基本的な素養を確立するプログラムであり、シリコンバレーツアー (Silicon Valley Tour) とヨーロッパ文明史グランドツアー (European Civilization Grand Tour) で構成されています。

シリコンバレースタディツアーは、グローバル企業が集まっているアメリカのシリコンバレーで最先端の産業現場を体験する3週間の現地学習プログラムであり、ヨーロッパ文明史グランドツアーは、ギリシャ、ローマ文明の発祥地とルネサンスの中心地であるアテネ、ローマ、フィレンツェ、ヴェネツィア、そして東西の文明が交わるイスタンブールにわたって、ヨーロッパ文明史の流れと核心を理解する5週間のグランドツアーのプログラムです。特別スタディツアーは、かかる費用をすべての学生に全額奨学金の形で支援します。



学期	革新基礎および専攻教育課程	第2外国語 ① ②	コンピュ ーター 言語	現場実践教育課程	グローバルキャンパス
1	革新基礎(必須)			グローバル・エンゲージメント	韓国
2	革新基礎(必須、選択)			都市問題解決プロジェクト	韓国
3	専攻基礎 (HS) 専攻基礎 (NS) 専攻基礎 (DS&AI) 専攻基礎 (BI)			グローバル・エンゲージメント	アメリカ
4	専攻選択			都市問題解決プロジェクト	アメリカ
				シリコンバレーツアー	
5	専攻選択			グローバル・エンゲージメント	中国
6	専攻選択			都市問題解決プロジェクト	中国
7	専攻選択			グローバル・エンゲージメント 都市問題解決プロジェクト	ロシア
				ヨーロッパ・グランドツアー	
8	専攻選択			グローバル・エンゲージメント 都市問題解決プロジェクト	日本

* HS (Humanities and Social Sciences, 人文社会学部)

* NS (Natural Sciences, 革新基礎学部)

* DS&AI (Data Science and Artificial Intelligence, データ科学と人工知能学部)

* BI (Business Innovation, ビジネス革新学部)

* 第2外国語 (韓国語, 中国語, ロシア語)

* グローバルローテーション及びキャンパスは現地の状況に応じて変更可能

**Active.
Experimental.
Integral.**

**Learn.
Reflect.
Transform.**

**Comprehensive.
Empirical.
Problem-
Solving.**

**Creative.
Desirable.
Human-
centered.**

**Innovate.
Adapt.
Lead.**



**Innovation
Foundations**



**Humanities and
Social Sciences**



**Natural
Sciences**



**Data Science and
Artificial Intelligence**



**Business
Innovation**

Innovation Foundations



革新基礎学部 (The School of Innovation Foundations) の教育課程は、急速に変化する世の中で学生が優れた能力を発揮するのに必要な基礎スキルと知識を備えられるように設計されています。「何を知っているのか？」より「何ができるのか？」が重要な時代に歩調を合わせ、一生の間に何度も向き合う変化に柔軟に対処し適応できる基礎能力を育成します。6つの

- 分析的かつ体系的に思考・判断し、複雑な問題を解決
- 創意的なアイデアを探求し、革新的な方法を試みて新しい解決策を提示
- 相手を効果的に理解させるコミュニケーション

核心的な能力を基に、グローバルリーダーシップを発揮し、知的で多才な人材を育成する総体的な教育アプローチを提供します。学生が批判的で創意的に思考し、グローバル環境で多様な文化と交流し、協働し、他人の感情を理解し共有できる能力を育て、世の中に意味ある変化を起こす人材を育成することを目指します。

- 様々な文化、観点及び価値に共感し、調和と協力を引き出すリーダーシップ
- グローバル社会・経済・環境の持続可能性を増進させ、人類の繁栄を促進
- 生涯学習者としての好奇心、自己理解、自己主導学習を増進

革新基礎学部は、学生がどの分野を選択しても優れた能力を発揮するために必要な基本的な技術と知識を提供します。学生は批判的かつ創造的に考え、効果的にコミュニケーションし、協働し、急速に変化する世の中を切り抜けることができる自らの専門性を持続的に構築する方法を学びます。



Dean of Innovation Foundations
Professor Elizabeth P. Callaghan

Ph.D. University of Southern California
English and Gender Studies

Humanities and Social Sciences



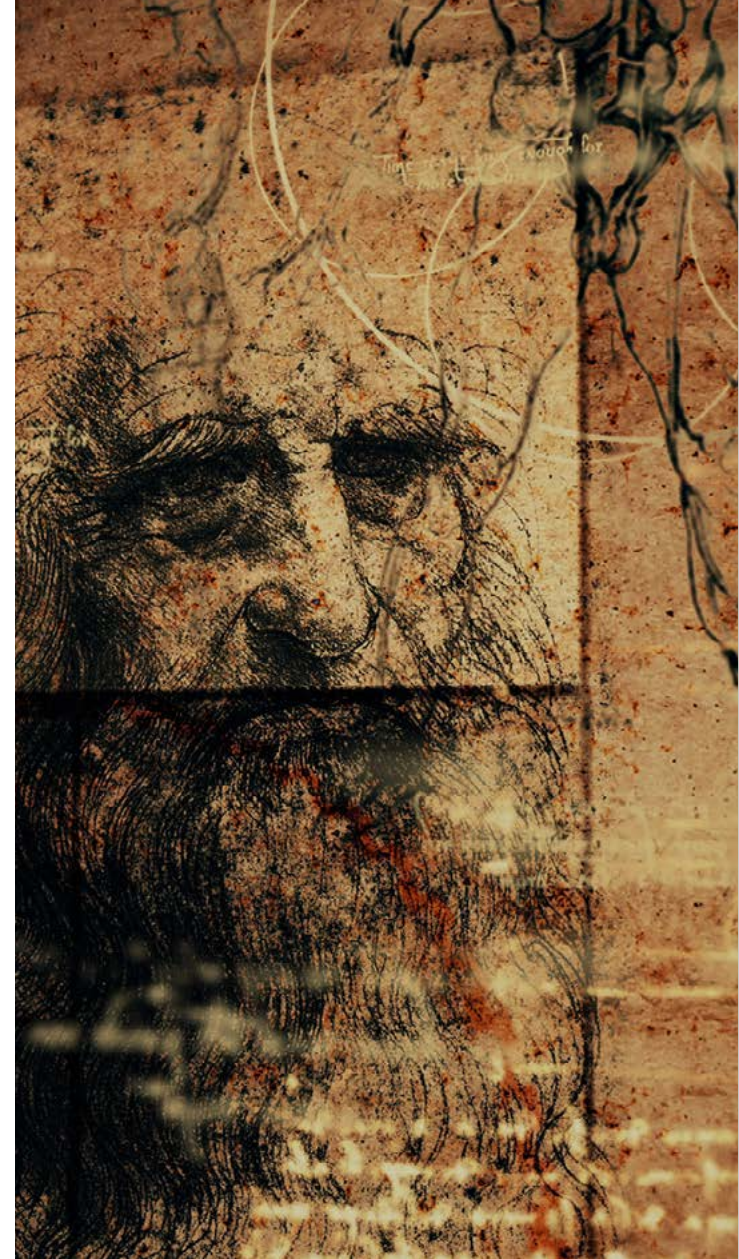
人文社会学部 (The School of Humanities and Social Sciences) は、人間と社会に対して幅広く 深みのある洞察力を備えた未来志向的リーダーの養成を目標にしています。人文社会学部専攻課程はメディア・文化産業、PR・マーケティング、芸術、学術、教育など多様な分野で自分の創意的な能力を発揮したい学生のための人文・文化学 (HCS) トラック、

- 人間と社会に対する独立的かつ批判的な見方と洞察力の啓発
- 選択専攻分野の核心概念と理論について創意的に思考し革新的な方式で実際世界の問題解決法を提示
- 開かれた討論と他人に対する尊重、共感を通じてコミュニケーションと協働技術の向上

より良い世の中に対する情熱を土台に現実世界の問題に対する実用的問題解決能力を備えた人材になることを志す学生のための社会革新ガバナンス (SIG) トラック、そして、哲学的・経済的・政治的識見と専門性を備えた未来のエリートとして政府・公共機関、法律界、メディア、金融、ビジネスなどの分野で活躍したい学生を対象とする哲学・政治・経済学 (PPE) トラックで構成されています。

- 多様性、共感、持続可能性の価値を重視し、これらの価値を基に国内およびグローバルな問題に肯定的な影響を与える
- キャップストーンセミナーとプロジェクトを通じて職業的な興味と素質を発見し、そのための実践的な知識と経験学習

“ 人文社会学部は、AI 時代にさらに重要な競争力になるヒューマンスキルの啓発に重点を置いています。人間と社会に対する批判的洞察力と感性知能、そしてその活用のための先端技術およびコミュニケーション能力を強化し、これからの時代を先導する人材を養成します。”



Associate Dean of Humanities
and Social Sciences
Professor Jeongseok Lee

Ph.D. Princeton University
Public and International Affairs

Natural Sciences



自然科学部 (The School of Natural Sciences) は、現代社会の科学技術基盤を理解し、未来社会の多様な分野で革新を導く人材を養成することを目標としています。このため、エネルギーシステム、生命システム、地球システムなどの教育カリキュラムを通じて、基礎理論、分析およびシミュレーション、統合的問題解決に至るまで、さまざまな科目を提供しています。学生は他の学問との融合を通じて学期ごとにさまざまなテーマの成果物を作り出し、モデリングやバーチャルラボの設計・製作を行います。

- 科学的理論に基づいた問題解決能力、シミュレーション技術、効果的なコミュニケーションなど、実践に適用するための堅実な基礎科学知識の育成
- 未来社会の複雑な課題解決のための学際的融合知識と批判的思考方法の習得

専攻のキャプストーンデザインに必要な場合、協力機関のプロジェクトやグローバルラボのインターンシップに参加する機会が与えられます。学生は卒業以後に環境科学、生命科学、エネルギー分野の専門性と融合プロジェクトの経験を活かし、研究開発、技術専門コンサルティング、ヘルスケアなど多様な産業分野と共に学界および政府機関での研究および政策開発などで活躍できます。

- グローバルな課題を理解し、科学的アプローチでソリューションを設計することにより、グローバルな参加と文化的認識を養う
- 自己主導学習とパーソナライズプロジェクトを通じて、個々の学生の関心事と進路目標を支援

“人間と自然の相互作用において、自然の根本的な原理を現象中心に理解させます。革新ベースに構築された自然科学部のカリキュラムは、さまざまな科学技術分野にわたり、知的成長を促進するために設計された学際的アプローチを提供します。”



Dean of Natural Sciences
Professor Jungmi Yang

Ph.D. Brown University
Chemistry

Data Science and Artificial Intelligence

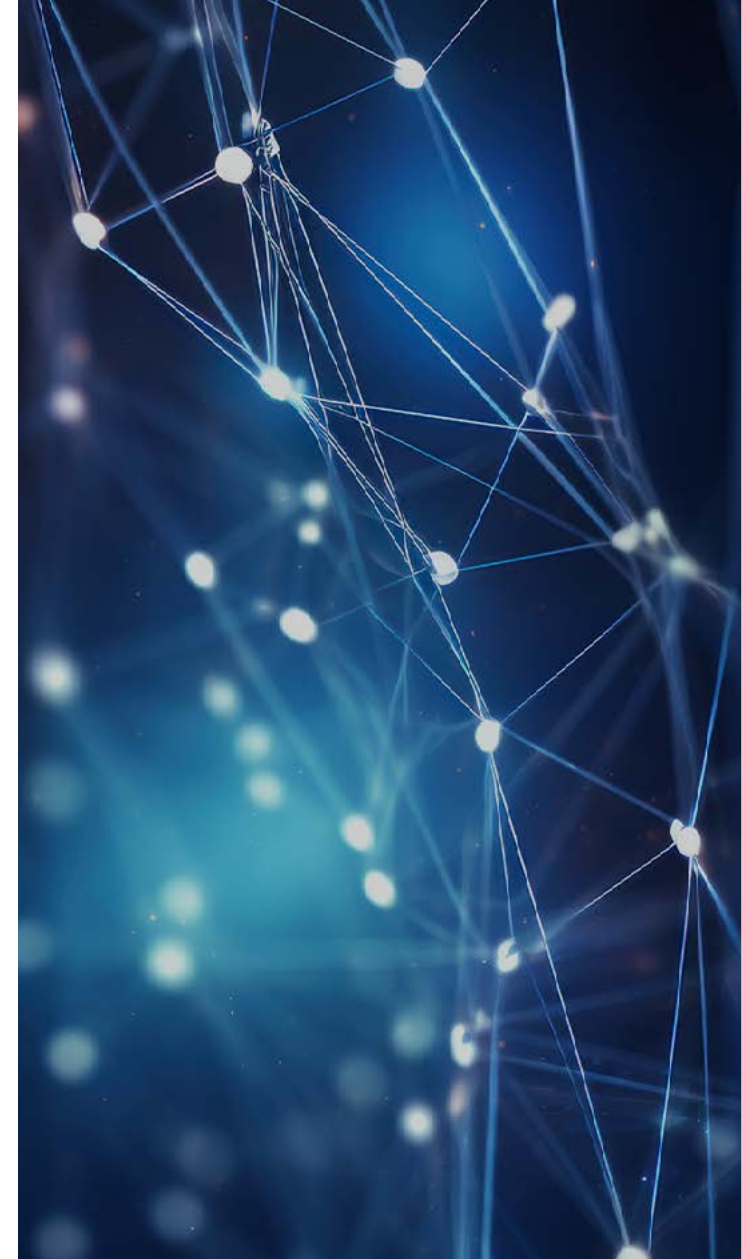


データサイエンスと人工知能学部 (The School of Data Science and Artificial Intelligence) のカリキュラムは、人工知能、データサイエンス、コンピューティング応用数学の3つの分野の専攻科目で構成されています。人口知能の基盤となる機械学習、データアナリティクスなど、未来の力量となる技術の核心原理を探究します。

技術の専門知識を習得するだけでなく、より魅力的で人中心的な社会に貢献するために必要なユーザー中心のアプローチとデザインの思考、人間と機械間の相互作用を理解することに重点を置いています。

- 技術中心の未来社会を設計・実現する上で不可欠な高度な技術専門性を発揮するとともに、ユーザー中心のアプローチの習得
- データ科学と人工知能に関する包括的な理論的知識と応用力の習得
- 全世界の5つのキャンパスで現場学習および市民プロジェクトと連携した実習プロジェクトを通じてコンピューティング技術の核心的な能力と実務技術を強化し、卒業時にキャップストーンプロジェクトを通じて成果の創出の全体プロセスを経験
- 批判的で創意的かつ融合的思考能力を養い、社会と産業の複雑な課題に対して問題の本質を把握し解決する能力を学習

“ デジタル時代により良い世界を作ることを目指しています。データ科学と人工知能学部のカリキュラムは、デジタル革命と人工知能の台頭により、人類文明の大変革が起こる時期に、将来のリーダーシップの役割を果たす準備が整った人材を育成することに重点を置いています。 ”



Dean of Data Science
and Artificial Intelligence
Professor Jiyoung Kwahk

Ph.D. POSTECH
Industrial Engineering

Business Innovation



ビジネスイノベーション学部 (The School of Business Innovation) は、起業家的思考を育成し、ダイナミックで絶えず進化するビジネス世界に能動的に対応できる学生を育成することに専念しています。ビジネス世界で肯定的な変化をリードし、影響力のあるベンチャー企業を生み出す未来のリーダーを育成することを目標としています。企業家精神、経営、マーケティング、会計、財務、技術経営など多様な分野を扱い、学生がビジネス環境に

対する総体的な理解を深めるためのサポートをします。泰齋のビジネスイノベーション学部の主要な特徴の一つは、実践的な学習とプロジェクト実習に重点を置いていることです。ビジネスイノベーション学部では、学生が実際のビジネス課題を解決し、業界のパートナーと協力し、独自の起業家的ベンチャー組織を立ち上げる能力を開発することを奨励しています。このような実用的なアプローチにより、学生は実践的な環境で知識を活用し、創造力、問題解決能力、リーダーシップスキルを育成することができます。

- リーダーになるために不可欠な起業家的思考の育成
- 急速に変化する企業環境に適応し、経営革新能力を培う
- 組織を導く強力なリーダーシップスキルの習得
- 他者との協働とネットワーキングを通じて大きな成果を達成する能力の向上
- 倫理的で持続可能なビジネス慣行の尊重

“ 将来のビジネスリーダーの中心になりましょう。ビジネスイノベーション学部のカリキュラムは、絶えず進化するビジネス世界のダイナミズムに対処し、学生が革新を優先する起業家的思考を育成する準備を整えます。 ”



Dean of Business Innovation
Professor Young Won Ha

Ph.D. The University of Chicago
Business Administration



Support

全方位にカスタマイズされた学生支援により、学生一人一人の成功を導く泰齋大学

泰齋大学は、さまざまな教科／課外学習支援のために、該当分野において最高の専門家で構成された学生個別のカスタマイズされた学習支援組織を構築しています。



教育革新院
(EII)



グローバル先導員
(GII)



学生成功院
(SSI)



国際語学センター
(GLC)



学習支援

泰齋大学は、教育カリキュラムに沿って、基礎から深化までを包括する学生に合わせた学習サポートプログラムを提供しています。

教育革新院 (Education Innovation Institute) は学生が自己主導学習能力を向上させるプログラムを提供しています。このプログラムには、基本学習方法からアクティブラーニング、問題ベースの学習戦略、セミナー、ガイドブック、チュータリングなどが含まれます。

また、オンライン授業時に学生の授業参加データを収集、モニタリング、分析し、効果的な学習を促すための学習方法を提案します。これにより、学生は自分の学習状況を把握し、より効果的な学習のための自己評価と改善に取り組むことができます。討論方式に不慣れな学生の適応を積極的に支援する、泰齋ディスカッションラボ (Taejae Discussion Lab) を運営しています。

Three-Layer Academic Support Program



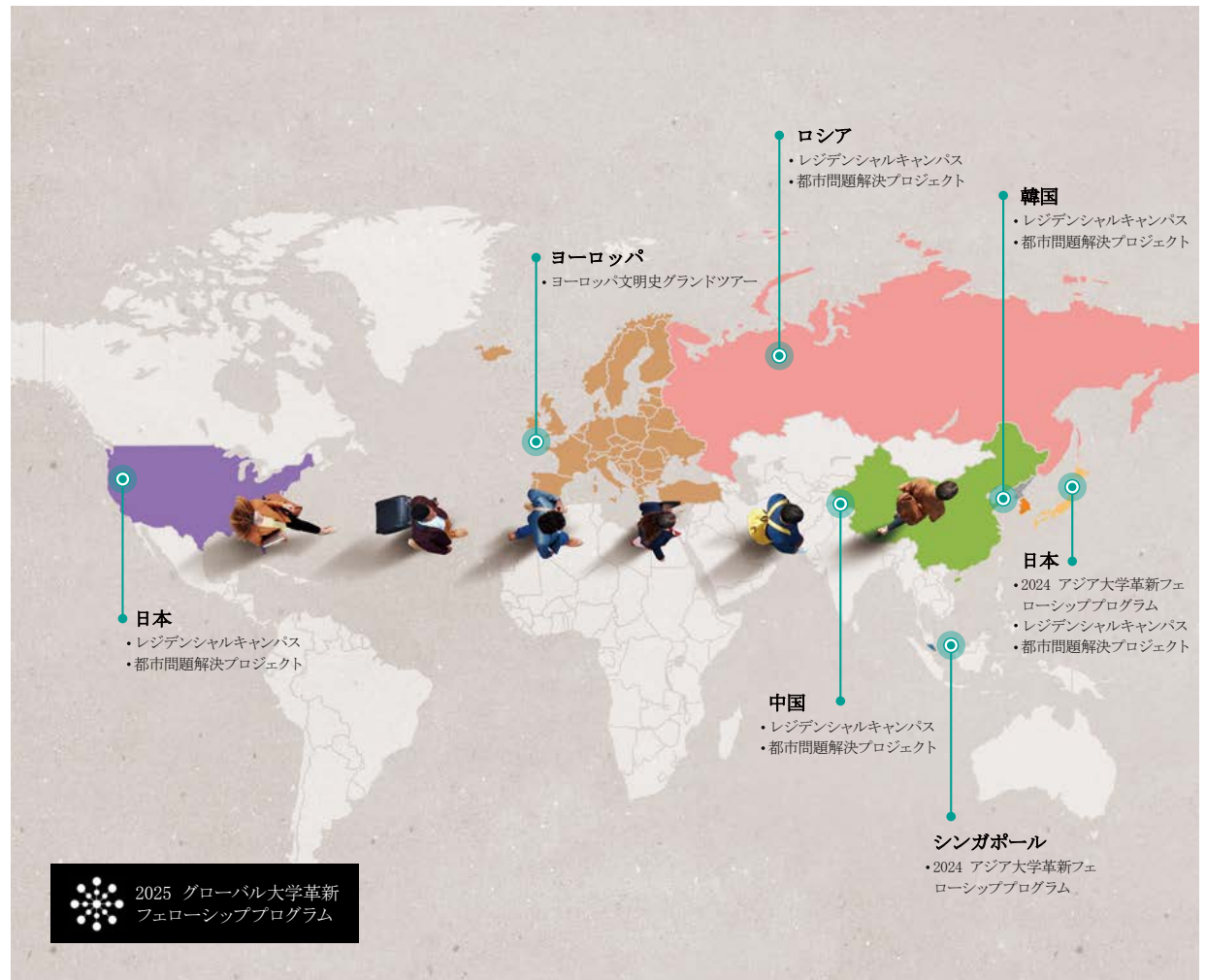
グローバル体験支援

泰齋大学はグローバル先導院 (Global Initiative Institute) を通じて学生のグローバル体験を奨励し、学生が自ら設計したプログラムを企画、推進、実行することで、自己主導的態度、コミュニケーション能力、グローバルマインドなどの能力を鼓舞します。これは、グローバルエンゲージメントプログラムと5ヶ国グローバルローテーション授業によるグローバルレジデンシャルキャンパス支援を通じて行われます。また、大学革新フェローシッププログラムを通じて、世界中の大学の革新的なシステムとプログラムを探索し、国境を越えたインサイトを得ることができます。本プログラムへの参加を希望する在学学生は、グループを組んでプロジェクトを直接設計し、提案書を提出して厳格な審査過程を経ます。最終的に選ばれたチームは、関連経費を奨学金として支援を受け、該当プロジェクトを遂行することになります。

※ 泰齋大学は、学生の国際学術会議での発表やコンテスト参加、文化探訪、起業サークル活動、ボランティア活動などを支援しています。



Illustration by 김혜인 (Class of 2023)



学生の成功を支援

泰齋大学は、学生が教科プログラムを通じて得る知的能力に加え、自己能力、心理・社会的能力、グローバル市民意識を備えた成熟した人間として成長できるように、体系的なプログラムを提供しています。

学生成功院 (Student Success Institute) では、学生が教科課程を効果的に履修し、大学生活を充実させるように、自己能力とリーダーシップ技術を開発するプログラム、学生の心理検査や相談など情緒的健康を促進するウェルネスプログラム、社会的問題に関心を持ちグローバル市民意識を育成する社会的価値プログラム、自分の夢を見つけ、達成するための1:1の個別キャリア開発プログラムなどを実施しています。これは泰齋大学独自の差別化された全人教育システムであり、泰齋大学の在学生在がこれらのプログラムを通じて、グローバルリーダーに必要な力量を備えられるよう支援します。



言語学習支援

泰齋大学は学生の学業能力向上とグローバルキャンパスでの円滑なプロジェクト遂行を促進するために国際語学センター (Global Language Center) を設立し、英語、韓国語、中国語、日本語、ロシア語、コンピュータ言語など多様な言語学習支援プログラムを運営しています。このプログラムは、学期と休暇中に個別のコーチングまたはワークショップの形式で運営されます。



英語



通常のコースで行われる教科目の理解を促進し、英語圏の大学の授業で要求される水準の学習を進めるために必要な学術的英語能力を強化するプログラムを提供します。学生の個々のニーズと要求に応じて、ディスカッション、プレゼンテーション、学術的な文章作成などのカスタマイズされた学習活動を行います。

中国語



HSK (中国語水平試験) 3級を目標に、生活、学業、仕事などのさまざまな領域で基本的なコミュニケーションが可能となるプログラムを運営しています。このプログラムは中国語のリスニング、スピーキングを中心に、リーディング、ライティング能力を向上させると同時に、中国の言語、社会、文化、経済などに対する総合的な理解を深めます。

日本語



会話、リスニング、文法、ライティングなどの基本的な日本語能力を向上させ、JLPT N4以上の資格を取得できるようサポートするプログラムを運営しています。また、日本の社会文化についての理解を深めるための学習プログラムも提供しています。

ロシア語



3学期以内にTORFL 1級に準じる言語能力を達成することを目指し、言語とともにロシアの社会、文化、歴史に関する基本知識を獲得できるプログラムを運営しています。韓国に在学中のロシア人学生との交流を通じて、語学能力向上の機会を提供します。

韓国語



TOPIK (韓国語能力試験) 3級を目標に、自己紹介、場所、物の購入、1日のスケジュール、食事、休日、天気や季節など、韓国での基本的なコミュニケーションが可能となるプログラムを運営しています。スピーキングを中心に授業を行い、リーディング、リスニング、およびライティングなど、各機能に対する練習を通じて実生活での応用を目指します。

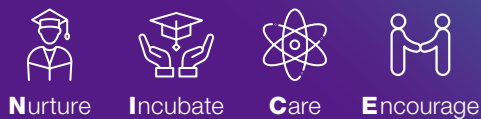
コンピューター言語



さまざまなコンピュータ言語の特徴を理解し、アプリケーションの開発に必要な要素およびIT分野の開発プロセスに関する基本知識を習得することを目指すプログラムを運営しています。このプログラムはPythonを用いたアプリケーション開発の実習や、ChatGPTを活用したアプリケーション開発の実習を中心に進められます。

奨学支援

育成して (Nurture) 支援して (Incubate)
ケアして (Care) 応援する (Encourage) 奨学支援



泰齋大学は、学生が財政的な制約なしにグローバル人材に成長できるよう授業料、レジデンス費用、グローバルプログラム費用など多様な奨学金を提供します。スペシャルスタディツアー（シリコンバレーツアーとヨーロッパランドツアー）の費用の場合、すべての学生に全額支援し、国際学術発表やコンテスト参加、文化探訪などの教科外活動も資格要件に従って参加者を選抜し支援します。また、Work-Study 制度を通じて生活奨学金を支援しています。

	区分	支援金額	備考
泰齋人材奨学金	授業料	全額	<ul style="list-style-type: none"> ・所得第 5 分位内の国内学生 ・2025 年までに入学した国際学生
レジデンス奨学金	レジデンス	全額	<ul style="list-style-type: none"> ・所得第 5 分位内の国内学生 ・2025 年までに入学した国際学生
グローバル学生生活活動奨学金	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな経験活動 ・都市問題解決プロジェクト ・グローバル・エンゲージメント 	全額	<ul style="list-style-type: none"> ・所得第 5 分位内の国内学生 ・2025 年までに入学した国際学生
Work-Study 奨学金	Work-Study 活動	選定支援	<ul style="list-style-type: none"> ・Work-Study の活動時に時給で策定して支給
Study Tour 奨学金	スペシャルツアー	全額	<ul style="list-style-type: none"> ・シリコンバレーツアー ・ヨーロッパランドツアー
入学選考優秀奨学金	授業料	全額 (1年限定)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学最優秀合格者

* 所得第5分位:韓国奨学財団の「所得認定金額」による算定区間を指します。

* 奨学金の詳細は、入学後の大学内規に基づいて執行されます。

泰齋大学は本校で支援する奨学金の他にも多様な外部機関および奨学財団の奨学金の恩恵を学生が受けられるよう支援します。

泰齋大学は卒業後の学生のキャリア開発を支援するため、卒業後の奨学金プログラムを運営し、卒業生の海外トップ大学院への進学、国際機関や非政府組織への就職支援、スタートアップの起業などを奨学金を通じて支援しています。このような支援は、泰齋大学独自の特色ある奨学金制度です。

	区分	支援金額	備考
グローバル・リーダー奨学金	グローバル・リーダー奨学金	選定支援	・卒業後、国際機関、非政府団体などの活動を支援
起業支援奨学金	起業支援奨学金	選定支援	・卒業後の起業活動を支援
学問の次世代養成奨学金	学問の次世代養成奨学金	選定支援	・卒業後の海外最優秀大学院への進学支援



Taejae Global Eminent Scholar Fellow Council

泰齋大学の学問的環境と学生たちの教育の旅を豊かにする Taejae Eminent Scholar Fellow Council は、各分野の世界的な碩学で構成されています。泰齋大学の在学学生たちは多様な公開講義とセミナーを通じて持続的に全世界の碩学たちと交流しながらグローバルリーダーの夢を育てることになります。



Young-Kee Kim

- Professor, Department of Physics at the University of Chicago
- President of the American Physical Society (2024)
- Ph.D. The University of Rochester



Marvin Chun

- Professor, Department of Psychology at Yale University
- Ph.D. MIT



Jin Hyung Lee

- Professor, Neurology, Neurosurgery, and Bioengineering at Stanford University
- Ph.D. Stanford University



Yutaka Tsujinaka

- President of Toyo Gakuen University
- President of the Japanese Political Science Association (2014-2016)
- Ph.D. Kyoto University

“革新的なカリキュラム、インタラクティブな少人数クラス、メタバースと国際的な居住環境で共に学べるグローバルコミュニティを備えた泰齋大学は、韓国だけでなく、世界中の興味深い新しい教育機関です。変革を目指す野心的な大学生たちの関心を惹きつけるでしょう。”

Marvin Chun

Professor, Department of Psychology
at Yale University

“一人の人生はその人の選択の結果です。教育は人生の旅の中で正しい選択をする方法を教えるものだと考えます。泰齋大学が将来の人材に優れた選択をする方法を教える素晴らしい教育の場となることを期待します。”

Jin Hyung Lee

Professor, Neurology, Neurosurgery, and
Bioengineering at Stanford University

“廉載鎬初代総長のビジョンあるリーダーシップのもと、泰齋大学における新たな始まりへの期待はアジアおよび世界の教育に革命をもたらすでしょう。私は彼が率いるチームが革新的なアイデアと分析的な洞察力で武装した新世代の知識人を育成することを確信しています。泰齋大学は単なる大学ではなく、複雑な世界の挑戦に立ち向かい、勝利する準備が整った変革の力です。”

Yutaka Tsujinaka

President of Toyo Gakuen University

泰齋未来教育フォーラム

泰齋未来教育フォーラムは、全世界が直面した教育革命の解答を模索するために毎年教育の未来に関する主題で多様な分析と代案を提示し、新しい教育政策の方向性を探求するための議論の場です。泰齋大学は教育界のダボスフォーラムを目標に毎年泰齋未来教育フォーラムを開催し、泰齋大学の学生が全世界の碩学およびグローバル企業 CEO、COO などの講演とセッションに参加する機会を提供しています。



2023 第1回泰齋未来教育フォーラム



基調演説を担当するマイクロソフト (Microsoft) 社の最高科学責任者であるエリック・ホルビッツ (Eric Horvitz)



歓迎の挨拶をしている泰齋大学の廉載鎬総長

2023 Main Speakers



Eric Horvitz
Chief Scientific Officer
of Microsoft



Oren Etzioni
Founding CEO
at Allen Institute for AI



Daphne Koller
CEO and Founder
of insitro, Co-founder
of Coursera



Stephen M. Kosslyn
Professor Emeritus
at Harvard University



John Katzman
CEO of Noodle
and Education
Entrepreneur



Norman Atkins
Co-Founder and
Managing Partner
of Array Education



Cristina Conati
Professor
of Computer
Science, University
of British Columbia



Aaron Rasmussen
Founder and CEO
at Outlier



Joshua Wohle
CEO of Mindstone

Life at Taejae

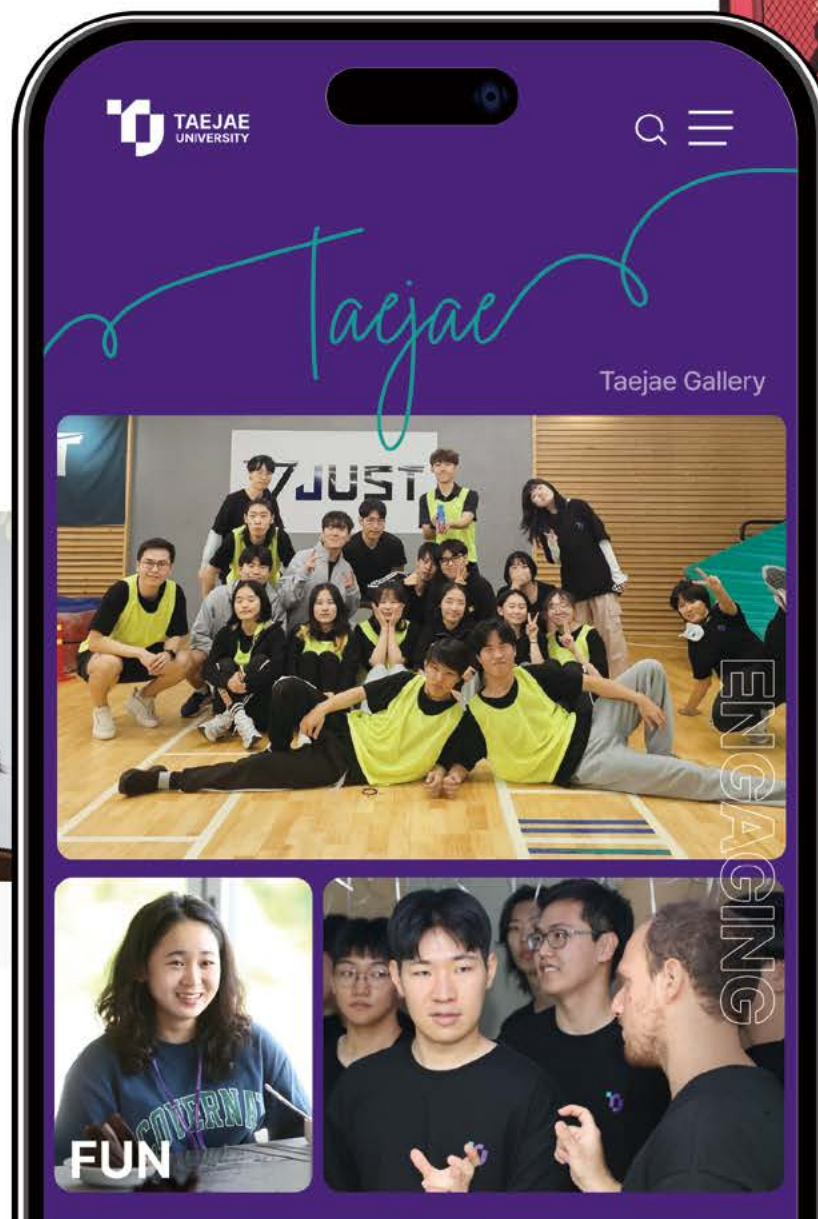
グローバルな多様性の中でコミュニケーションをとり、
和合し、21世紀の未来のリーダーとして成長していく泰齋人

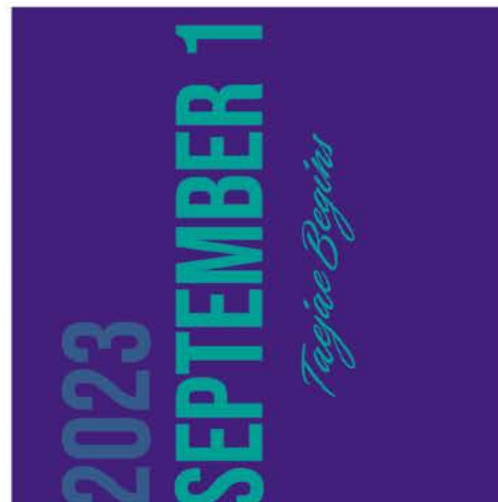




Residential Campus Program

泰齋大学の在学学生は、グローバルなレジデンシャルキャンパスでさまざまなバックグラウンドを持つメンバーと一緒に生活し、活発な相互作用と協力を通じてグローバルコミュニティプログラムを体験します。芸術、文化、スポーツなど、さまざまな活動と地域社会との連携を通じて学業の達成と情緒的成長を促し、泰齋のメンバーとしての所属意識と誇りを育み、また別のコミュニティ文化へと進化していく経験を共有します。



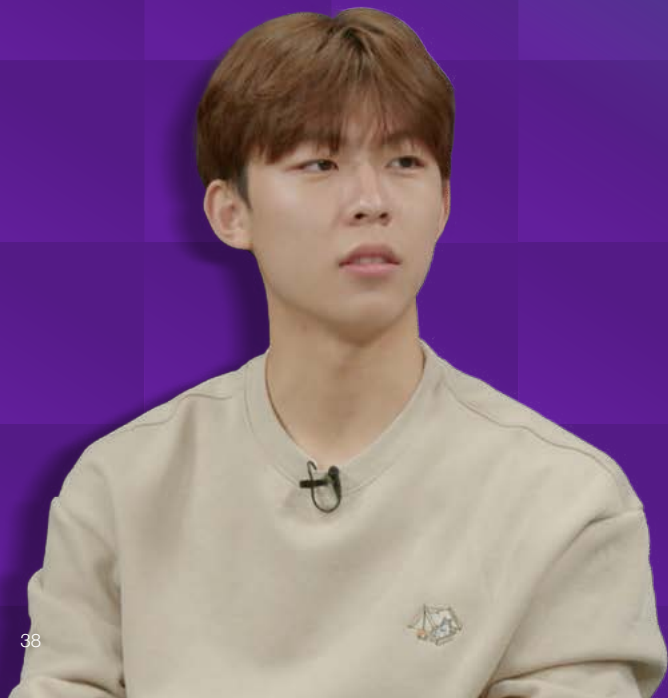


“My First Semester at Taejæ”

“

最初は言語の壁に落胆することもありましたが、1学期が終わった今、自分自身でも英語の実力が本当に大きく向上したとを感じるようになりました。勉強しながら難しい瞬間もありました。しかし、辛いと思ったことはあっても、幸せではないと思ったことはないと思います。これらの経験が私をより強くし、成長するのに役立っていると思います。”

”



“

1クラスあたりの学生数は約16人であり、教授方は各学生に個別の関心を払っています。教授とのコミュニケーションツールは場所の制約なく、毎時間開かれているため、学生は積極的に交流し、質問し、学習することができます。授業の後も、教授方と深い議論を通じて学習を補完し、発展させることができました。”

”



“

実は私は創意的思考と批判的思考という授業をこのように集中的に受けることになるとは予想できませんでした。考える観点の方法論的な部分を学ぶことができ感謝しており、時代の変化に応じて必要なスキルを獲得することに重点を置く教育課程が肯定的に感じられます。時代に合わせて変化しなければならない教育の方向を先導するマインドセットを備えていると思い、この点が泰齋大学の特長だと思います。”

”



“

他の大学でも交換学生プログラムなど、海外経験を積む機会が存在することは事実です。しかし、少数の学生にのみ機会が与えられる交換学生制度とは異なり、泰齋大学の学生たちは同級生と4年間ずっと一緒にグローバル経験を共有できるという点で他の大学との違いを感じます。それによって、より多くのシナジーと協働が生まれることを期待しています。”

“

私は寮の生活が本当に面白くて有益だと思います。一緒にご飯を作って食べたり、生活を共有することで、学友たちとより親密になり、絆を強化することができました。寮生活を通じてお互いをより良く知り、小規模ですが強固なコミュニティを形成できることは、私にとって大きな利点です。私たち独自の文化を築き、記録し、私たちの物語を積み重ねていくつもりです。”



The background of the slide features a clear blue sky and the upper portion of a traditional Chinese architectural roof. The roof is covered in dark grey tiles and has several ornate, dark-colored finials or 'wengmen' (roof ornaments) visible along its ridge. The perspective is from below, looking up at the roofline.

To Be a Global Leader

Contributing to the Harmony of East and West

To Be a Future Leader

Building a More Sustainable Society

To Be an Innovative Leader

Leading a Long-lasting Society of the 21st Century

To Those Who Dream of Joining Taejae

“ 完成した状態で泰齋大学に来ようとしなくてください。泰齋大学に来て新しく学び、感じるがたくさんあります。この小さなコミュニティの中でも、異なる視点に触れながら自分の視野を広げることができます。泰齋大学の中で本当の意味で成長している感覚を経験しています。本当に適切なことを学んでいると感じました。ですから、泰齋大学に応募する際、自分がいかに多くのものを持っているかを示そうとせず、どんな夢や目標に向かって進みたいか、泰齋大学の中でどのように成長し、発展したいかを強調すれば、泰齋大学が望む方向性とよく合うと思います。私も泰齋大学での旅を通じて、これからどのように成長するかを本当に楽しみにしています。 ”

Class of 2023, Yijun Kim

“ 2023 年 10 月、勉強を始めてから 1 か月後、イスラエルとハマスの間で戦争が勃発しました。当時イスラエルにいましたが、どうなるか分からない状況で学業を疎かにするしかありませんでした。戦争の影響で学業が続けられるかどうか心配しましたが、泰齋大学はイスラエル政府に何度も公式の手紙を送り、補習学習資料も提供してくれたおかげで無事に学業を続けることができました。私の夢は非政府組織で働くことです。人々をつなぎ、強力な地域コミュニティを構築し、東洋と西洋の文化を繋ぐ架け橋になりたいです。より良い世界に貢献するグローバルリーダーになりたいのであれば、泰齋大学と共に歩んでください。 ”

Class of 2023, Shahar Bezalel

“ 泰齋大学に入学した決定的な理由は自分の限界に挑戦したいという強い欲望でした。元々はアメリカで優秀な工学部を卒業し、良い職に就くという誰もが理想とする道を選ぼうとしていました。それにもかかわらず、私は他人が決めた道ではなく、自分が本当にやりたいことが何かを深く探求する時間が必要だと感じました。自ら大学という共同体の中で共に成長していきたいし、本当に幸せに何かを成し遂げたいと思ったので、泰齋大学に入学することになりました。 ”

Class of 2023, Minwoo Choi

“ 泰齋大学独自の特別なグローバルエンゲージメントプログラムは、私が泰齋大学に入学することになった決定的な理由でした。世界最高のグローバル都市で勉強しながら多様な文化を学んで新しいインサイトを得ることができる珍しい機会だと思いました。特に、世界的に有名な碩学たちと出会い、ディスカッションを行い、グローバルな問題について深く考えて解決策を探ることができる点で胸が躍りました。さらに、泰齋大学は卒業後の大学院進学や国際機関の就職など、卒業後のキャリア開発も積極的に支援します。泰齋大学の入学よりも私の人生にとって良い機会はないと思います。 ”

Class of 2023, Lina Jellibi

Taejæ in the News

「泰齋大学の授業は知識を伝達する過程ではなく、知識を内在化する過程である。」

「スタンフォードがしないこと、できないことを泰齋大学がやります。AI ベースの教育を武器に、ハーバード大学、スタンフォード大学の代わりに泰齋大学に来てもらえるように。」

「本当に優秀な学生たちです。2008 年からイギリスで講義をしてきましたが、今回の泰齋大学での初めての学期が一番心に残ります。」

「20 世紀に広まった大量生産方式の教育は一方的な知識伝達ではなく、問題解決能力と現場経験を育むことに重点を置いた個別の学習に置き換わるでしょう。」

「社会的、経済的な達成を超えて、将来の社会の発展に貢献するグローバルリーダーとして育成する。」



「お金を稼ぐために作られた学校ではないため、能力と情熱を持つ学生には在学中はもちろん、卒業後も大学院進学や起業まで支援する計画」があり、「優秀な人材がお金がなくて通えないということはないだろう。」

「全世界を舞台に活動するグローバル人材、未来型、そして自己革新型人材である。自己主導の下で自分の意見を創意的に提案できることが求められる。」

「この全てのプログラム（スペシャルスタディツアー）にかかる経費は奨学金の形で支援されることになる。学校がお金を払って、学生は世界から学ぶということだ。」

「学生の潜在能力を見て選抜するが、私教育で訓練された学生たちは選抜されない。また、定員を満たすために基準を満たさない志願者まであえて選抜することはない。」



“いつも改めて物事を始めようとする心構えを持ち、驚きと好奇心を持ち続けてください。日常の単調さや忙しい生活から自分自身を守ってください。特に重要な自身の野望を見失わないでください。日々の力を信じてください。”

泰倉大学 2023 入学式で

June-e Huh

Professor, Princeton University

Fields Medal, International Mathematical Union

$$(\int \mathcal{A}(s))' = \mathcal{A}(s)$$

THE

NEXT

ANSV

VER

is

Love





www.taejae.ac.kr

一般のお問い合わせ | info@taejae.ac.kr

入学のお問い合わせ | osr@taejae.ac.kr